

■マニフェスト2010「もったいないプラス+」提案施策の予算対応について

- ・150の提案施策の内、136の施策については、平成24年度に事業予算化を行い着実に推進（特に、県政経営版を除く134の提案施策の内、126の施策については事業予算化）
- ・事業予算を伴わない14の施策についても、各取組の充実・強化を図るとともに、政策研究や事前調査に着手し、具体化を推進

区 分	提案 施策数	◆事業予算化を行い実現を図る施策数		◆事業予算はないが取組を進める施策数	
		主な予算事業		具体的施策	
計	150	136		14	
<b>人生版「生まれる時から見送られる時まで、あなたの人生に希望と安心を！」</b>					
小計	47	45		2	
■誕生期【生まれる】	4	4	○医師確保総合対策事業 ○看護職員確保等対策費		
■幼少期【育つ】	8	8	○妊娠期からの虐待予防対策促進事業 ○体系的な環境学習推進支援事業		
■就学期【学ぶ】	11	10	○次世代文化芸術推進事業 ○おうみしごと体験事業	1	○「社会のしくみ」教育を学校・地域で進めます
■青年期【伸びる】	5	4	○おうみ若者未来サポートセンター運営事業 ○普通科におけるキャリア教育推進事業	1	○男女の出会い（婚活）を支援します
■壮年期【生きる】	11	11	○女性の就労トータルサポート事業 ○地域を支えつなぐ医療専門職育成事業		
■熟年期【満ちる】	4	4	○高齢者労働能力活用事業 ○地域自殺対策緊急強化基金		
■高齢期【実る】	4	4	○認知症患者医療センター医療相談支援事業 ○地方バス等対策費		
<b>地域社会版「滋賀の潜在力を、未来の希望社会へとつなげます！」</b>					
小計	87	81		6	
■発展 【地域に根づいた足腰の強い産業の成長・発展を図ります】	20	20	○中小企業振興の基本的なあり方・検討推進事業 ○滋賀でモノづくり企業応援助成金 ○広めよう、おいしい滋賀発信事業		
■活力 【地域が育んできた自然的・文化的魅力を地域の活力に活かします】	15	14	○観光ブランド推進事業 ○滋賀の感性を伝える「ココール」事業 ○「美の滋賀」発信事業	1	○地域の環境や産物を活かした企業立地の推進
■安心 【地震や水害に備えた安心なまちづくりを進めます】	15	12	○危機管理センター整備事業 ○非常災害用井戸推進事業 ○地域で育む防災・防犯活動支援事業	3	○防災文化の発掘と活用 ○非常時の湖上交通やミニ発電設備の検討 ○市町と協働し流域治水の基本方針策定
■保全 【みんなで琵琶湖を守り支え次の世代に伝えます】	19	19	○琵琶湖深湖底低酸素化と生物の関係究明 ○世代をつなぐピワマスプロジェクト ○オオクチバス稚魚発生抑制事業		
■エコ 【低炭素型の暮らしに転換して地球温暖化を抑制します】	18	16	○個人用既築住宅太陽光発電システム設置促進事業 ○新交通システム推進事業 ○民間事業者節電・省エネ推進事業 ○低炭素社会実現に貢献する事業者評価手法検討調査事業	2	○資金循環の地域通貨の導入検討 ○BDFの燃料利用拡大と資源循環の推進
<b>県政経営版「知恵だし汗かきの県庁で、県民主役・地域本位の県政を展開します！」</b>					
小計	16	10		6	
■県民や市町・NPOなど様々な主体の皆さんとの協働を進めます	5	4	○新しい公共支援事業	1	○県政の基本となる自治基本条例の制定を検討します
■地域のことは地域で決める県政にします	6	4	○未来成長拠点形成事業	2	○部局別予算枠の廃止による縦割行政の解消など、県政運営の仕組みを改善します ○県から市町への権限移譲や関与の見直しなどにより、市町の自由度を拡大します
■県民の皆さんへの「見える化」を進め、身近でわかりやすい県政にします	5	2	○世論調査事業	3	○行政サービス等に必要となる費用をわかりやすく示した値札の表示を進めます ○県民参加型の事業仕分けなどにより無駄を排除し、財政を健全化します ○予算編成過程の公開など県政の見える化を推進します